



### 舟小ピロティが人工芝に

3月31日、町広域避難所となっている舟形小学校体育館のピロティが人工芝に生まれ変わりました。昨年度に実施したコロナ禍における豪雨災害を想定した避難訓練の結果、一時的な待機場所や屋外避難場所として、ピロティを活用することになりました。しかし、土のままでは砂埃が舞うなど衛生面に問題があるため人工芝にしました。平常時はスポ少の活動や、雨天時の保育園児の遊び場として利用されます。



### コロナワクチン接種予備訓練

3月27日に福祉避難所「てとて」で、新型コロナウイルスワクチン予防接種に向けた模擬訓練を実施しました。町民の方のご協力をいただき、感染対策を目的とした導線の確認のほか、衣服の着脱や受付、換気等の確認をしました。現在訓練を踏まえて、集団接種の準備を行なっています。今後、ワクチンの入荷状況に合わせて、順次接種についてのお知らせを行います。



### 福祉避難所「てとて」と舟形町防災センターが完成

3月26日、舟形町福祉避難所「てとて」と舟形町防災センターの合同竣工式が行われ、完成を祝いました。両施設は、平成30年8月5日から6日の豪雨により、町役場や指定避難所が浸水等の被害を受けたため、災害に強い防災体制を再構築するために整備したものです。

福祉避難所「てとて」は、乳幼児、支援が必要な高齢者など最大110名受け入れることができ、乳幼児専用の個室のほかに炊き出し室も整備しています。

平常時には、防災に関する会議や、子育て、高齢者の介護予防、健康増進に関する事業、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種会場として幅広く活用していく予定です。



### 春休み「わかあゆ塾」開催

3月17日から29日にかけて、学力の向上とともに学ぶことの大切さや楽しさを感じてもらうことを目的に、教育委員会が「春休み舟形わかあゆ塾」を中央公民館で開催しました。参加した延べ222名の小中学生からは、「苦手な教科が減った」「とても楽しかった」との感想があり、塾の意図をしっかりと汲み取ってくれたようでした。5月からは、民間講師が指導する中学生対象の「放課後わかあゆ塾」がスタートします。



## 工作や化学を体験して学ぶ

3月24日と26日、中央公民館で春休み少年少女おもしろ体験教室が行われました。これは、子どもの長期休みに学校や家庭ではなかなかできない体験を通して、子どもの学びを深めることを目的に町教育課が開催したものです。

2日間で約90名の児童が参加。子どもたちからは、「紙皿のおもちゃ作りが楽しかった」、「空気を使った科学実験が不思議だった」などの感想があり、体験から新しい学びにつながる教室となりました。



## 町建設業協会と災害協定を締結

町は、舟形町建設業協会と災害時における支援協力に関する協定を締結し、3月19日に締結式が行われました。この協定は、地震や風水害、雪害などの災害が発生、または発生する恐れがある時に、町建設業協会が町の災害対策活動に支援協力をするることにより、災害の未然防止や被害拡大防止、早期復旧を行うことを目的としています。

今後も、町建設業協会と連携を図りながら、町民の安全安心のため取り組んでいきます。



## 44人が希望を胸に

3月18日、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、舟形小学校卒業証書授与式が行われました。

式では、姉崎秀悦校長先生から44名の卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡されました。この卒業証書は、子どもたち自らが長沢和紙で作ったものです。

卒業生は全員で「別れの言葉」として、保護者、教職員、5年生に向け感謝の言葉のほか、自分たちの決意を述べ、6年間学んできた校舎を旅立ちました。



## 「いのちの日」プロジェクト

3月11日、舟形中学校で「いのちの日」プロジェクトが行われました。このプロジェクトは舟友会執行部が中心となって考えたもので、東日本大震災から10年がたったこと、そして今の新型コロナウイルス禍の中、大変な思いをしている方に思いを寄せるため行われたものです。

生徒たちはメッセージを書いた折り鶴を制作。夕方には、小さなまくらにろうそくの火を灯し、「ありがとう」と「がんばろう」を呼び掛けました。

## Old Kyu News(令和3年3月)



### 大きく元気に育ってね

3月8日、舟形ほほえみ保育園の年中児31名と最上町大堀保育所の年少中児20名が、時間をずらしてサケ稚魚の放流を行いました。これは、小国川漁業協同組合が、清流小国川を地域みんなで守る意識を育む目的で企画したものです。

この日は、町サケふ化場でふ化し、体長約6～7cmに育った稚魚約4万尾が放流されました。園児たちは「大きくなってね」と声をかけながら放流していました。

## Old Kyu News(令和3年2月)



### 祝 数え100歳

2月19日、今年数えで100歳を迎えられた三浦わかさん(野)へ、町から長寿褒章が贈られました。

自宅で家族と過ごしているわかさんは、3食必ず白米を食べるとのことで、白米でないと力が出ないと笑顔で話されていました。また、新聞を端から端まで毎日読んでいるほか、暦に家族の出来事を記録しており、毎年いろいろ教えてくれるとのことでした。

三浦さんのますますのご長寿をお祈りします。



### 令和2年度 舟形町教育功労者表彰

2月16日、令和2年度の舟形町教育功労者表彰式が町中央公民館で行われました。この表彰は、町の教育・芸術・文化の向上と発展に貢献された方を対象に贈られるもので、今年度は、10名の個人と4団体が受賞されました。受賞者は次のとおりです。

## Old Kyu News(令和3年2月)



### 福島県沖地震 町でも震度4

2月13日の午後11時7分、福島県沖深さ55kmでマグニチュード7.3の地震が発生しました。震源に近い福島県、宮城県では最大震度6強を観測、町でも震度4を観測しました。

この地震に伴い、町では災害対策警戒本部を設置。町内の被害状況の確認や今後の対応を検討しました。幸いにも町内での被害はなかったものの、積雪のある冬季間の地震であるため、余震のほか雪崩などにも十分注意してください。



### もうすぐ1年生

2月3日、舟形小学校で一日入学が行われ、4月から入学予定の園児と保護者32組が参加しました。当日は、園児は1年生教室で音楽や図工の授業を体験したのち、5年生と一緒に、体育館で簡単なダンスやゲームをして交流しました。その間保護者のみなさんは、入学に向けた説明を学校、教育委員会から受けました。

始めは緊張していた園児たちでしたが、最後には笑顔があふれていました。

## Old Kyu News(令和3年1月)



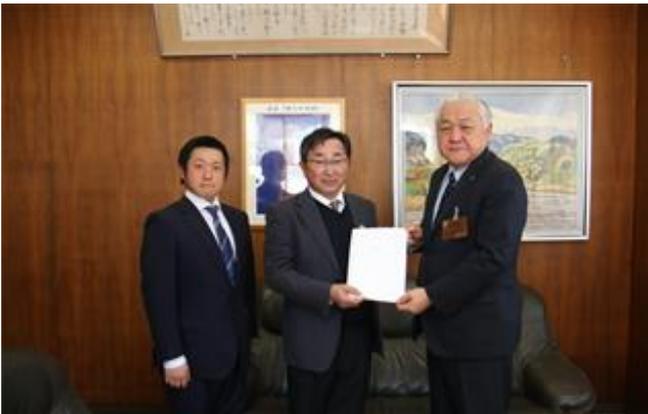
### 目指せ！自己ベスト

1月29日、舟形小学校でスキー記録会が開催されました。この記録会は、小学校統合から毎年行われてきました。昨年は少雪により中止となったため、2年ぶりの開催となった今回の記録会は、あいにく悪天候。吹雪にも負けず児童たちは、地域の方からのたくさんの応援を力に、起伏のあるコースと風に挑み、自己ベスト目指して力走しました。



### 漢字一文字に決意を込めて 舟形中学校で「立志式」

1月29日、舟形中学校で「立志式」が行われました。これは元服にちなんで数え年の15歳を祝うものです。元服は江戸時代の成人式でもあり、立春に行われたことから、毎年この時期に行われています。



### まちづくり審議会「建議書」を提出

1月25日、まちづくり審議会会長 阿部弘明さん(洲崎)と会長代理 吉田達也さん(舟形第3)が町長に建議書を提出しました。令和2年度は「今後のデジタルファーストの推進」について町長から諮問を受け、実際にオンライン会議を活用しながら審議を重ねてきました。

阿部会長は、「町民のみなさんが、ict技術のメリットを実感できるようデジタルファーストを推進することは今後重要になる。多くの町民が、ictの恩恵を受けられる環境構築につなげてもらいたい」と建議書の一部を読みあげました。



### 無事故・無災害を祈願

1月10日、舟形町消防団安全祈願祭が行われました。今年は、新型コロナウイルス感染症の影響から感染拡大を防止するため、出初め式を中止とし、安全祈願祭のみ、規模を縮小して行いました。この日は、森町長、加藤嘉久団長(堀内)、渡部広行副団長(幅)、庄司洋一副団長(太折)の4名が出席し、無事故・無災害を祈願しました。

今年度から就任した加藤団長は、「昨年はコロナ禍で消防に関する行事がほとんど中止となったが、火災が野火の1件にとどまったことは日頃の防火広報キャラバンの成果である。また、7月の豪雨の際も排水作業により被害を最小限に抑えることができた。今後も火災を出さず、災害にも対応していきたい。」と話されました。

今年も舟形町消防団は町の安全・安心な暮らしを守るため活動していきます。



### 書き初めで1年の抱負を

1月8日、舟形小学校で書き初めが行われました。書き初めは、年が明けてから初めて毛筆で字や絵を書くことを指すもので、日本の伝統行事の一つとなっています。

今年は、マスクを着用して「夢と希望」や「新春の光」など学年ごとの目標や課題を、一文字一文字筆先に全神経を集中させ書き上げていました。みなさん姿勢も良く、堂々とした伸びやかな字で、気持ちが込もった書き初めとなりました。

## Old Kyu News(令和3年1月)



### 「豪雪対策本部」を設置

1月4日、町内の積雪深が150cm(西又で200cm)に達し、今後も継続的に降雪が予想されることから、町民の安全を確保するため「舟形町豪雪対策本部」を設置しました。最上管内で除雪作業中や落雪での事故が発生しています。落雪による事後、除雪作業中の事故、ビニールハウス等の倒壊、水道管の凍結などに注意するとともに、作業を行う場合は十分な安全対策を行ってください。また、高齢者などの一人暮らし世帯などで、除雪や日常生活などに困っている方は、民生委員や町に相談してください。

## Old Kyu News(令和2年12月)



### 愛の鳩賞を受賞

12月14日、山形メディアタワーで2020年度愛の鳩賞贈呈式が行われ、舟形町読み聞かせボランティア連絡協議会(会長 阿部弘明さん)が受賞しました。この賞は、ボランティア活動や地域福祉活動を地道に続け、成果をあげられた方に対し贈られるものです。

阿部会長は、「今まで読み聞かせに携わっていただいたみなさんのおかげです。今後は、年配者にも読み聞かせの楽しさを伝え、若い世代の読み手の継承もしていきたい」と話していました。



### 親子でオリジナル味噌づくり

12月13日、町中央公民館で矢ノ目麴屋さん(河北町)を招き「味噌づくりワークショップ」が開催されました。これは、親子で楽しく学んでほしいと舟形町母親委員会が主催し、感染症対策をとり行われたものです。

当日は37組80名の親子が、大豆を潰すところから手作業で、オリジナル味噌づくりに汗を流しました。

参加者からは「子どもが味噌づくりを通じて、食材や食べることに興味を持ったようで良かった」という声がありました。来年夏ごろの完成が楽しみです。

## Old Kyu News(令和2年12月)



### 「山形県ベストアグリ賞」を受賞

12月11日、株式会社ムラサキ農産(代表取締役 八鍬良則さん)「山形県ベストアグリ賞」を受賞しました。これは、地域の環境を生かし、優れた経営と農村生活を実践している先駆的な農業者等を表彰するものです。

ムラサキ農産は、水稻をはじめ、夏秋ねぎ、トマトなどの園芸作物栽培を組み合わせた複合経営を行っています。ねぎにおいては、最上広域野菜振興協議会のねぎ部会会長として、最上地域全体のねぎ産地化を牽引しています。



### ”食”への関心を高めるため

12月8日、舟形小学校の3年生33名が豆腐づくりを行いました。これは食育・地産地消事業の一環として行われたもので、さまざまな経験を通じて「食」に関する知識や選択する力を身につけ、健全な食生活を実践できる人を育てることを目的としています。

この日は、町食生活改善推進協議会の8名の指導の下、豆腐づくりを体験しました。また、夏には大豆を自分たちで植えたほか、味噌づくりも行い、食べ物が作られる過程を学びました。

## Old Kyu News(令和2年11月)



### 最上小国川鮎釣りPRムービー公開

最上小国川清流未来振興機構が、小国川での鮎釣りの振興のため、PRムービーを制作しました。この動画では、初心者が鮎の友釣りに挑戦する様子や、舟形若あゆ温泉の鮎料理なども紹介されています。鮎釣りに興味がある方はもちろん、鮎釣り未経験の方もぜひご覧ください。

#### 【動画リンク】

フルバージョン

<https://www.youtube.com/watch?v=LCB88XTI8lk>

ダイジェストバージョン

<https://www.youtube.com/watch?v=TpB6nvU4a70>



### 中華の給食に笑顔

11月12日、舟形小学校と舟形中学校で、日本一の給食食育推進事業として、町出身の高橋シェフ考案の中華料理の給食が提供されました。

この日のメニューは、中華風炊き込みご飯、舟形産野菜入りとき卵スープ、チャーシューの中華和えの3種類で、地鶏、チンゲン菜、マッシュルームなどの地元食材が使われています。児童たちからは、「ごま油の香りがしておいしい」などの感想があり、おいしい給食に笑顔があふていました。



### 桜を記念植樹(長尾町内会)

11月8日、長尾大平山桜の里山整備事業として、桜の植樹を行いました。



### ボランティアで美しい地域に(長者原地区)

11月1日、中学生4名とその保護者が、一緒に地域の美化活動を行いました。

## Old Kyu News(令和2年10月)



### 輝け青春の絆 1ページ(舟形中学校舟友祭)

10月24日、生徒たちの作品展示のほか、合唱やダンスを披露しました。



### 予防消防のため 総合防災訓練(第2分団管轄)

10月24日、コロナ禍のため消防団のみ参加し、万一来臨地域の防災を確認しました。



### 福祉援助・助成が送られる(高校生ボランティアサークルふなっ子)

10月22日、地域福祉推進のため活動している団体として、(財)山新放送愛の事業団から贈呈されました。



### 白バイがやってきた

10月15日、ほほえみ保育園でかもしかクラブが行われ、白バイが登場し、子どもたちと一緒に交通安全を学びました。これは、例年開催していた自動車学校での交通安全教室が、新型コロナウイルス感染症により中止になったことから行われたものです。

園児たちは、横断歩道の歩き方や交通ルールを学んだほか、普段間近で見ることのない白バイに「すごい」「かっこいい」など歓声を上げていました。



### 第28回舟形町スポーツフェスティバル開催

10月11日、第28回舟形町スポーツフェスティバルが開催されました。町内各地で、全7競技が行われ226名が参加し、競技ごとにコロナウイルス感染症防止の対策を講じて行われました。

参加したみなさんの熱いプレーに笑顔や歓声があふれ、大いに盛り上がりました。



### 受け継がれる縄文の炎

10月10日、農林漁業体験実習館で縄文土器等の野焼きが行われました。これは、舟形中学校が郷土の文化を学ぶ授業の一環として行なったもので、全生徒が思いおもいに形成した縄文土器等を、縄文炎祭実行委員会のみなさんが焼き上げました。

実行委員会では、この野焼きのほか、縄文土器等の製作の指導も行い、縄文文化を伝える活動をしています。完成した作品は、10月24日の舟形中学校舟友祭で展示されますので、ぜひご覧ください。



### 健康長寿を祝う

10月6日、町内で数え88歳の米寿を迎えられた方を祝うため、町長が各家庭を訪問し賀詞を贈呈しました。町長からは、長年にわたり町の発展に尽くされたことへの感謝と祝福の言葉が贈られました。

賀詞を受け取ったみなさんは、「これからも元気に長生きできるようにがんばりたい」、「100歳目指してがんばりたい」とおっしゃっていました。みなさんの健康長寿をお祈りします。

## Old Kyu News(令和2年9月)



### 元気に全力競技

9月12日ほほえみ保育園で運動会が開催されました。園児たちは徒競走や親子競技などに一生懸命取り組み、笑顔あふれる一日となりました。



### 焼きたての鮎をスムーズに提供

9月5・6日、アユパークで、がんばれ舟形特産品応援事業「焼き鮎ドライブスルー販売会」が行われました。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、町最大のイベント「ふながた若鮎まつり」が中止となりましたが、町の特産である「鮎」を味わってもらいたいという思いから、完全予約制で行いました。

県内外から多数の予約があり、2日間合わせて3,000尾を超える焼き鮎が販売されました。購入した方からは、「今年は若鮎まつりが中止と聞き、鮎を食べることができないと思っていたが、このような形で舟形の鮎を買うことができ、とても良いイベント」などの声をいただきました。

## Old Kyu News(令和2年8月)



### 夏の大運動会

8月29日、30度を超える炎天下となったこの日に、舟形中学校で大運動会が開催されました。生徒たちは100m走や応援合戦、各学年競技など、夏の暑さに負けない熱い戦いの中、各組とも勝利を目指してベストを尽くしていました。



### 忠魂碑で平和を記念

8月15日、戦没者を追悼し平和を記念する日として、猿羽根山の忠魂碑で追悼式が行われました。例年、町では遺族会の会員が参列し戦没者追悼式が行われていましたが、遺族会の解散に伴い、今年度から新たな形での追悼式となりました。

当日は、森町長をはじめ八鍬町議会議長、菅原副町長、伊藤教育長が参加。先の大戦で亡くなられた方々に対して哀悼の誠を捧げるとともに、世界の平和を願いました。



### 地域を自分たちの手で

8月5日、堀内地区において地域運営組織の設立総会が開催されました。これは、平成29年度から取り組んできた「住民主体の地域づくり推進事業」の一環として、地域間の連携を図るとともに、地域の課題などを共有し解決に向けて取り組んでいくものです。

今年度は、モデル事業として「雪対策」や「健康づくり」などに取り組み、地域間の連携による地域づくりを推進していきます。



### 園児たちがじゃがいも収穫

8月5日、ほほえみ保育園で年長児30名によるじゃがいもの収穫が行われました。子どもたちは、大きく育ったじゃがいもを一つひとつ丁寧にの中から掘り出していました。

収穫したじゃがいもは、20日に子どもたち自らが皮むきして、給食のカレーを食べた子どもたちは、口々に「すごくおいしい」と満足そうな声を上げていました。



### 職員が避難所開設訓練を実施

8月1日、町職員が指定避難所となっている中央公民館と舟形小学校を会場に、非常招集訓練及び避難所開設訓練を行いました。

これは、新型コロナウイルス感染症が懸念される状況で、災害が発生した場合を想定を想定し行われたものです。感染症の対策をしながらの避難所の開設と運営について確認しました。



### 縄文の女神と縄文文化を学ぶ

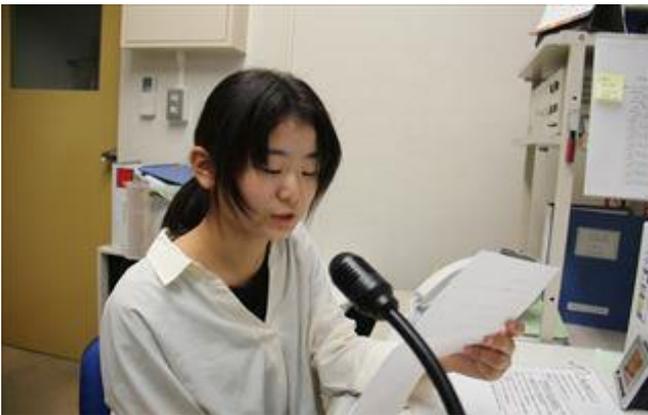
7月31日、中央公民館で「わくわく縄文講座」が開催されました。この講座は、舟形町が誇る縄文文化を町民のみなさんに広く伝えて、より関心を持っていただくことを目的に舟形町、最上町、大蔵村と連携して行っているものです。



### JAから給食野菜のプレゼント

子どもたちに地元の新鮮な野菜を食べてもらおうと、もがみ中央農業協同組合から、7月6日にニラ、14日にミニトマトの無償提供がありました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、給食時の場所の分散、対面にならない、会話を控えるなどの対策をしているため、例年のように生産者と一緒に給食を食べることはできませんでしたが、子どもたちは、JAと生産者のみなさんに感謝しながら給食を楽しんでいるようでした。



### 小学生がセーブメディア運動を呼び掛ける

7月4日～10日のセーブメディア運動期間に合わせ、舟形小学校6年生の浅沼瑠華さんが、防災無線で同運動を呼び掛けました。これは、テレビやゲームの時間を減らし、家族団らんの時間を増やすことや、メディアとの賢い付き合い方を考えることが目的です。

防災無線で子どもたちが直接呼び掛けるのは、今年度で2年目になります。浅沼さんは、「自分が呼び掛けたことにより、地域の人たちもセーブメディアに協力してもらえたら、うれしいです」と話してくれました。



### プール開き(ほほえみ保育園)

7月3日、ほほえみ保育園でプール開きが行われました。プールに入ると、子どもたちは「つめたーい」「気持ちいい」などと歓声をあげ、プール遊びを楽しんでいました。

## Old Kyu News(令和2年7月)



### 今年も鮎釣り解禁

7月1日、小国川の鮎釣りが解禁となりました。当初は小雨が降るあいにくのコンディションの中、県内外から太公望が集まり、竿から伝わる鮎の感触を楽しんでいました。

今年も小国川漁業協同組合により県内最多となる4000kgの稚魚が放流されたほか、小国川の清掃や鮎を将来に受け継いでいく活動も行われています。今年の鮎は形も良く、天然鮎の遡上率も高いということです。鮎釣りは10月まで楽しむことができます。

## Old Kyu News(令和2年6月)



### 役場退職者有志が応援

6月10日・15日、町単独の緊急対策事業「ガンバルめがみちゃん応援キャンペーン事業」の実施にあたり、プレミアム付き商品券の作成作業を町役場退職者有志8名が行いました。

これは、新型コロナウイルス感染症により、町民、事業者のみなさんが大変な思いをされていることに対し、各事業者の事務負担の軽減を図り、町民の方へ少しでも早く多くの商品券を届けたいという思いから行われたものです。

### 作物を育てる大切さを学ぶ

6月2日、舟形小学校3年生35名が大豆の苗を植えました。これは、舟形町食育・地産地消推進計画に基づいた事業です。県の食育名人である佐藤あや子さん(長尾)を講師に迎え、児童たちは苗植えの方法のほか、自分で作物を育てる楽しみや難しさについて学びました。

冬には、収穫した大豆で豆腐づくりを行い、「自分で育てた食材を自ら調理して食べる」ことを通じて、食と農業について学習していきます。



## Old Kyu News(令和2年6月)



### 田植え(舟形小学校)

6月2日、舟形小学校の5年制が、昔ながらの手植えでの田植えを行いました。子どもたちは、ぬかるむ田んぼに悪戦苦闘。泥だらけになりながら、一生懸命植えていました。

## Old Kyu News(令和2年5月)



### 町国宝縄文の女神特殊切手が発売

5月29日に、国宝土偶縄文の女神を含む特殊切手「国宝シリーズ第1集」が郵便局で発売されます。これは、一昨年に町長が縄文国宝自治体首長懇談会のメンバーと日本郵便本社に出向き、要望活動を行ったことで実現したものです。

当時の横山日本郵便局社長からは「縄文文化は世界に誇れる日本独自文化であり、土器・土偶は故岡本太郎氏が絶賛した造形美です。是非、特殊切手に採用したい。」と仰っていただきました。便りに乗って縄文文化が広がって行きます。



### 大きく元気に育ってね

5月27日、舟形小学校2年生34名が、体長8cmほどに育った稚鮎約7,000匹を小国川に放流しました。これは、子どもたちに鮎の生態や清流小国川をきれいにする事の大切さなどを知ってもらおうと、小国川漁業協同組合(組合長 高橋光明さん)が毎年行っている取り組みです。

児童たちは、「元気に育ってね」「大きくなってね」などと声を掛けて放流していました。

## Old Kyu News(令和2年5月)



### 2ヶ月ぶりにみんなが登校

5月18日、舟形小学校と舟形中学校で、3月4日の休校から約2ヶ月ぶりに学校が再開しました。新型コロナウイルス感染症対策として、町が休校措置をとっていましたが、5月14日に緊急事態宣言解除となったこと、また、県内の感染状況を検討し、町教育委員会及び町新型コロナウイルス感染症対策本部が再開を決定したものです。

久しぶりに全校生徒がそろい、校内には子どもたちの笑顔があふれていました。



### おうち時間でぬりえ

5月15日、町では町第7次総合発展計画のイラスト「ふながたまちの未来」のぬりえを作成しました。これは、新型コロナウイルス感染症対策の中、家で過ごす時間を活用してもらうおうと企画されたものです。裏面には子ども向けにめがみちゃんのぬりえもあります。

ぬりえには、ストレス解消や認知症予防の効果があると言われています。なお、完成したぬりえは町施設に展示しますので、ご応募ください。ぬりえは町ホームページからもダウンロードできます。

## Old Kyu News(令和2年4月)



### 入学式

令和2年度の入学式が、4月16日に舟形小学校、17日に舟形中学校で行われました。

感染予防対策を万全にして行われた式には、新入生とその保護者、学校関係者、来賓として森町長と八鍬町議会議長、PTA会長が出席、例年より簡素化しての実施となりました。

子どもたちが地域や学校で元気に学び、遊べる日が早く訪れるよう、引き続き、手洗いやアルコール製剤での消毒、咳エチケットのほか、3つの密を避けることを心がけ、予防に努めて頂けますようお願いいたします。

